

臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

開催日時	令和2年1月22日（水）18:08～18:51
開催場所	茨城県立中央病院 がんセンター大会議室
出席委員名	小島寛、清嶋護之、武村知己、松村哲也、鈴木美加、野上達也、小林弘明、武安法之、荒木眞裕、多川英久雄、村上りつ子
課題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>議題① 小野薬品工業株式会社の依頼による 「ONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第III相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題② 大鵬薬品工業株式会社の依頼による 「高度催吐性抗悪性腫瘍薬（シスプラチン）を投与する患者を対象としたPro-NETUの第III相試験」 国内で発生した重篤な副作用、および院内で発生した重篤な有害事象について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題③ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による 「未治療の多発性骨髄腫患者を対象としたBMS-901608の国内第2相臨床試験」 海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題④ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による 「elotuzumabの第II相試験」 海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題⑤ フェリング・ファーマ株式会社の依頼による 「A Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative</p>

Colitis in Japanese Subject Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者に FE 999315 を 8 週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験」
治験継続の適否について審議した。

審議結果： 承認

議題⑥ 日本イーライリリー株式会社の依頼による
「クローン病患者を対象とした LY3074828 の第Ⅲ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑦ 大鵬薬品工業株式会社の依頼による
「TAS-102 の第Ⅱ相試験」
治験継続の適否について審議した。

審議結果： 承認

議題⑧ MSD 株式会社の依頼による
「進行性又は転移性食道癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑨ MSD 株式会社の依頼による
「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑩ MSD 株式会社の依頼による
「MK-3475 第Ⅱ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑪ MSD 株式会社の依頼による
「胃癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑫ MSD 株式会社の依頼による
「胃癌（HER2 陰性）を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認